様式第二号の九（第八条の四の六関係）　　（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和６年　５月　17日

広島県知事　　様

提出者

住所　広島県東広島市志和町志和東2883番地

氏名　藤原メセナ建設株式会社

代表取締役　藤原　忠治

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　082-433-3111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

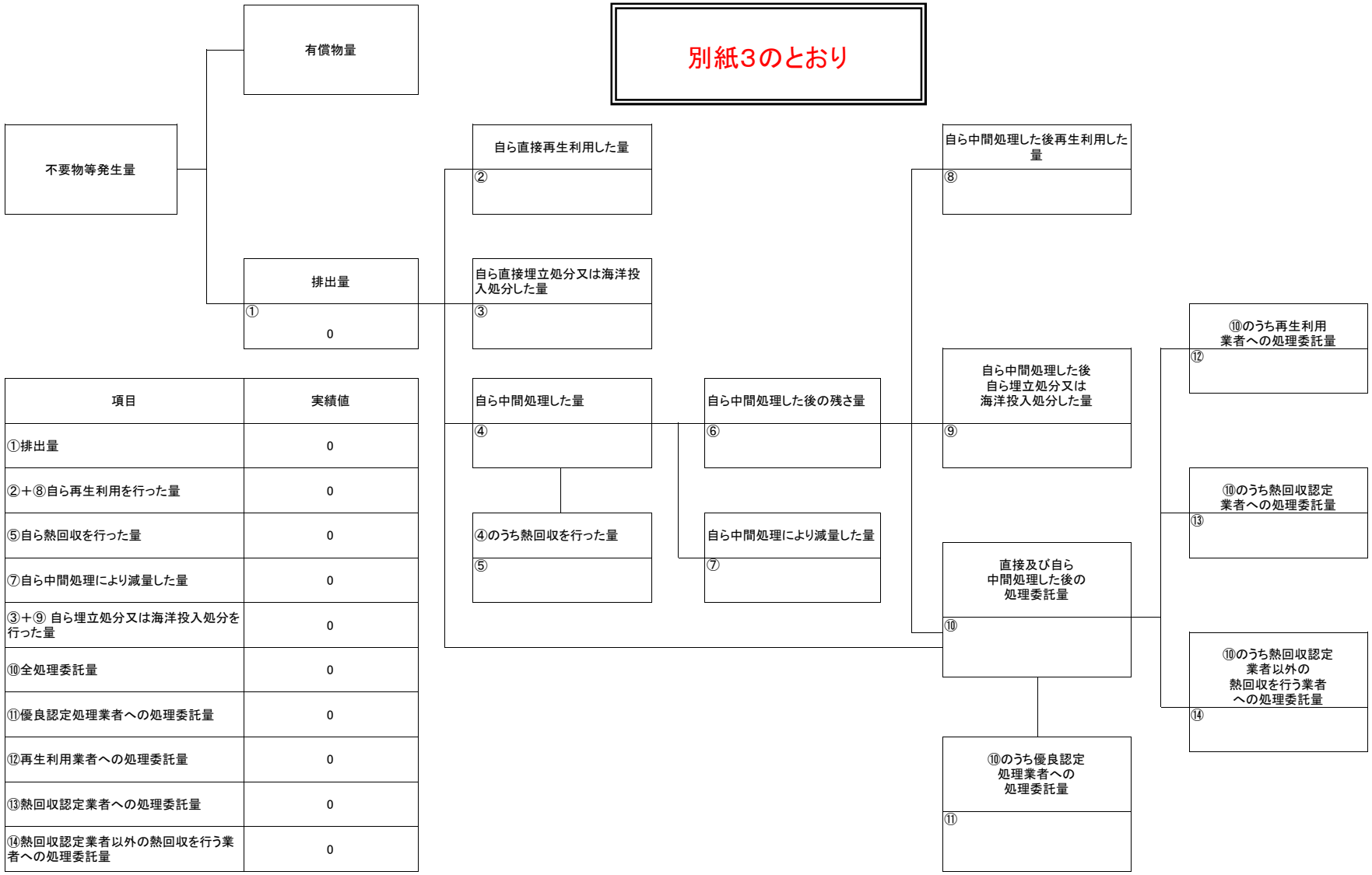
事業場の名称	藤原メセナ建設株式会社
事業場の所在地	広島県東広島市志和町志和東2883番地
事業の種類	建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値　**別紙４のとおり**

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2350　t	全処理委託量	2350　t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2350　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　　）

別紙3のとおり



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙3-その1（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書）
（令和5年度実績）

単位：トン／年

産業廃棄物の種類	① 排出量	② 自ら直接再生利用した量	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後、再生利用した量	⑨ 自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻														
汚泥	10									10		10		
廃油														
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	17									17		17		
紙くず														
木くず	1255									1255		1255		
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず	0									0		0		
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	4									4		4		
鉱さい														
がれき類	1154									1154		1154		
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
建設混合廃棄物	19									19		19		
コンクリート破片	286									286		286		
アスファルト・コンクリート破片	239									239		239		
合計	2985	0	0	0	0	0	0	0	0	2984	0	2984	0	0

別紙3－その2

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	実績値									
	①	②＋⑧	⑤	⑦	③＋⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	10	0	0	0	0	10	0	10	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	17	0	0	0	0	17	0	17	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	1255	0	0	0	0	1255	0	1255	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	4	0	0	0	0	4	0	4	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	1154	0	0	0	0	1154	0	1154	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設混合廃棄物	19	0	0	0	0	19	0	19	0	0
コンクリート破片	286	0	0	0	0	286	0	286	0	0
アスファルト・コンクリート破片	239	0	0	0	0	239	0	239	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2985	0	0	0	0	2984	0	2984	0	0

別紙4（廃棄物処理法−産業廃棄物処理計画実施状況報告書）

（令和5年度実績）

単位：トン／年

	目標値		実績値
排出量	2350	①排出量	2985.154
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		②自ら直接再生利用した量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		⑤自ら熱回収を行った量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		⑦自ら中間処理により減量した量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		③自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
全処理委託量	2350	⑩全処理委託量	2984
優良認定処理業者への処理委託量		⑪優良認定処理業者への処理委託量	
再生利用業者への処理委託量	2350	⑫再生利用業者への処理委託量	2984
熱回収認定業者への処理委託量		⑬熱回収認定業者への処理委託量	
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

様式第二号の八（第八条の四の五関係）　　（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　５月　17日

広島県知事　　様

提出者

住所　　広島県東広島市志和町志和東2883番地

氏名　　藤原メセナ建設株式会社

代表取締役　藤原　忠治

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　082-433-3111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	藤原メセナ建設株式会社
事業場の所在地	広島県東広島市志和町志和東2883番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	**別紙１、２のとおり**
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別紙１、２のとおり
（管理体制図）	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別紙１、２のとおり		
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項	別紙１、２のとおり
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙１、２のとおり	
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙１、２のとおり	
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			別紙１、２のとおり
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			別紙１、２のとおり
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

	②計画	【目標】	別紙１、２のとおり	
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙1（廃棄物処理法−産業廃棄物処理計画書）
現状：前年度（　　令和５年度）実績量
計画：今年度（　　令和６年度）計画量

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量（前年度実績値の①）		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の②+⑧）		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の⑤）		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量（前年度実績値の⑦）		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の③+⑨）		全処理委託量（前年度実績値の⑩）		優良認定処理業者への処理委託量（前年度実績値の⑪）		再生利用業者への処理委託量（前年度実績値の⑫）		認定熱回収業者への処理委託量（前年度実績値の⑬）		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量（前年度実績値の⑭）	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻																				
汚泥	9.9	5									9.9	5			9.9	5				
廃油																				
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	17.136	15									17.136	15			17.136	15				
紙くず																				
木くず	1254.796	1200									1254.796	1200			1254.796	1200				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0.08	1									0.08	1			0.08	1				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	4.05	4									4.05	4			4.05	4				
鉱さい																				
がれき類	1154.304	1000									1154.304	1000			1154.304	1000				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
建設混合廃棄物	19.318	15									19.318	15			19.318	15				
コンクリート破片	286.3	200									286.3	200			286.3	200				
アスファルト・コンクリート破片	239.27	200									239.27	200			239.27	200				
合計	2985.154	2640	0	0	0	0	0	0	0	0	2985.154	2640	0	0	2985.154	2640	0	0	0	0

別紙２（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

１　当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業
②事業の規模	完成工事高　約7億9000万円
③従業員数	25人
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	構造物取壊し→積込→運搬→処分

２　産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙を参照）

３　産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 工法変更について協議し、現場内利用など抑制する方法を提案している
②計画	（今後実施する予定の取組） 社内教育を実施し、抑制方法を提案している

４　産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

5　自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 社内に分別用ボックスを設けている 各工事現場ではマニフェストに記入し、直接処理工場へ搬入している
②計画	（今後，分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記の取り組みを推進する社員教育を行う

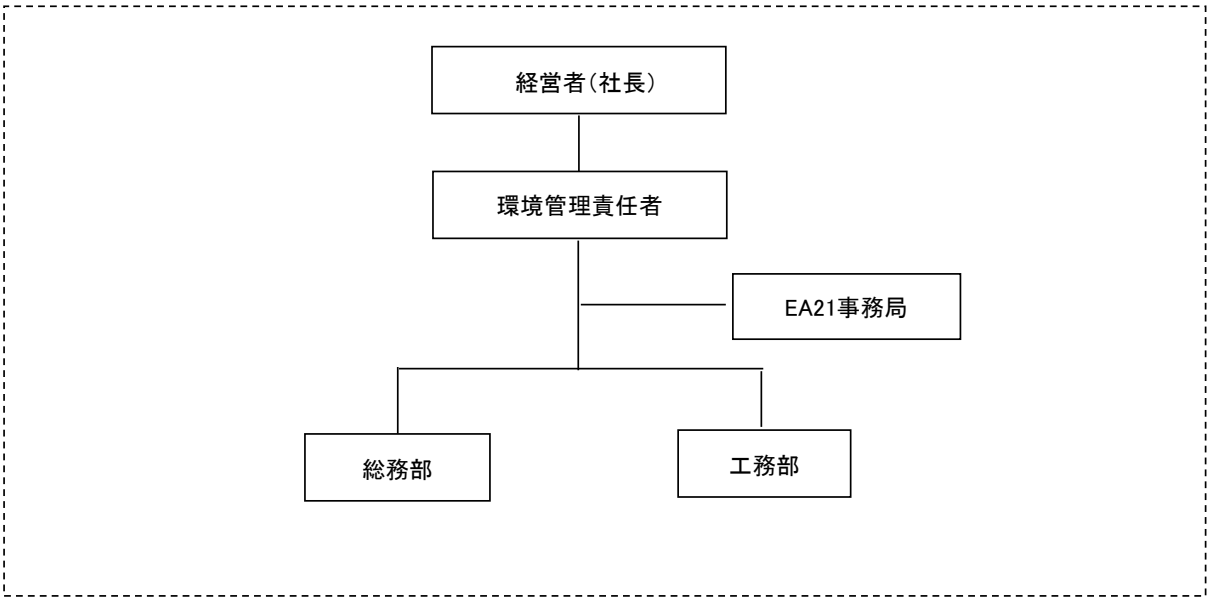
6　自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組）
②計画	（今後実施する予定の取組）

7　自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組）
②計画	（今後実施する予定の取組）

8　産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物の種類により各処理業者と事前に契約を行い、処分する
②計画	（今後実施する予定の取組） 産業廃棄物の種類により各処理業者と事前に契約を行い、処分する

管理体制図の例